

裏妙義-2

山行日 11月22日(日) 天気：晴れ

参加者 3名

記 SF

2日目：(国民宿舎妙義跡・三方境・鳥帽子岳・赤岩・丁須の頭)

コース：国民宿舎妙義跡 6：30→三方境 8：10→鳥帽子岳 8：45→
赤岩 9：35→丁須の頭 10：30→国民宿舎妙義跡 12：35

宿の主人のアドバイスにより、回るコースを当初より反対に変更した、これは三方境より丁須の頭を見ながらの山行になる為に、6時15分位に国民宿舎妙義跡の駐車場に到着すでに8割位の場所が埋まっていた、又入り口道路脇にも駐車していた、昨日のコースと違い多くの登山者がいた、私たちが早々に準備し630分位に出発した、多くの登山者は龍沢コースからで、三方境からの登山者は少数であった、鎖場の渋滞を考えると逆回りは正解でした、三方境への巡視路と女道があるが、今回は巡視路コースを使った、コースは最初人口林のなだらかな道で途中で少しの間急な九十九折が、その後は自然林の緩やかな登りとなり、紅葉が綺麗なコースです、三方境に近づくと人口林に変わり、峠では日影となる、展望は並木沢コース側の視界が開ける、ここから裏妙義中木山までの区間は急な登りとなる、中木山まで来ると、丁須の頭が見えるここからが裏妙義の核心部で鳥帽子岳へは急な下りとなり、鳥帽子岳の山腹を巻く細いルートになる、鎖はあるが取り付け位置が低いので、歩きにくい、次に赤岩で有名な絶壁下トラバースですが、足場もしっかりあり通過に問題は無かった、次はこのコース最大の難所のU字溝のチムニー約20mの鎖場、コースが逆なので、登りで通過、溝が狭いので、ザックが岩にぶつかり登るのが大変でした、中間峰 鍵沢のコルを通過し、丁須の頭に到着、今日は多くの登山者が頂上に上がる順番を待っていた、これから向かう龍沢コースで、登りが多くなり、待ちが増える可能性を考えて、早急に龍沢のコルへ向かう、この区間は昨日通過したので、安心して通過した龍沢コルから、龍沢コースへ入る、沢の中のコースで最初長い鎖場が続く、こちらもち落ち葉が多く足元が不明な箇所もあるので、注意しながらの下山した、沢のコースの為、沢の両側を、往復する為、途中何回はコースを探す箇所もあった、途中で広い場所がありそこで昼食タイムを取った、周りは紅葉が綺麗な場所でした、その後木戸の手前に大岩に二段の鎖場があり、晶文社地図では、このコースを登りで使用する場合はここから引き返すことの注記がある、この先には最後の鎖場があり、それを通過すると木段があり、すぐに龍沢登山口に到着、その後は林道で国民宿舎妙義跡の到着、駐車場の車は少し減っていた。



国民宿舎妙義 駐車場約8割埋まっている



今日は三方境へ向かう



紅葉が真っ盛り



テープの下に刷馬岳の表示
どこを指しているのか不明



三方境に ここから谷急岳へも行ける



正面が谷急岳へのルート



裏妙義（中木山）より丁須の頭が見える



岩の間がルート



岩の間を回って来た



狭い鎖の位置が低いので、歩きにくい



踏み後が薄い



落ち葉で滑りやすい



トラバースの後下りの鎖



梯子を下り ロープを頼りに
トラバース



赤岩の長い鎖



赤岩の絶壁下のトラバース



トラバースを渡っている
通過はそれほど難しくない



この鎖場は途中に足場が作ってある



赤岩に到着



このコース最大の20mの鎖場
U字溝の為ザックがぶつかる



中間峰より見た丁須の頭



龍沢コース最初の長い鎖場



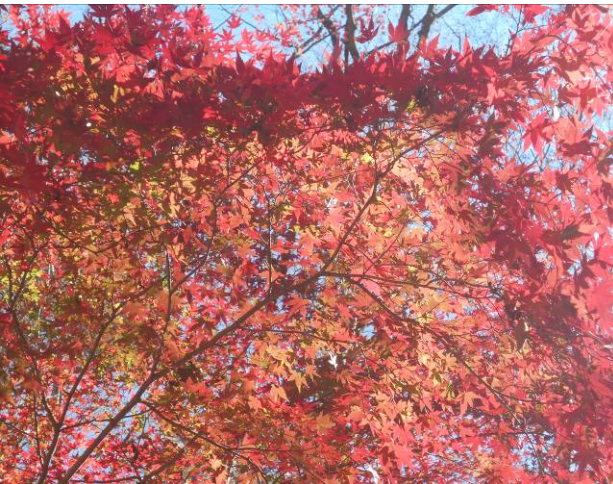
鎖場通過後



炭焼窯 入口は小さい奥行きは
2 m位で小さい



途中の広い場所で昼食タイム



紅葉が真っ盛り



狭い間がルート 降りるのが大変



狭い岩のルート



木戸に到着 もうすぐ登山口に



龍沢コース登山口



国民宿舎妙義跡に到着



丁須の頭 第二ステップに
人がこれから頭に登るところ



風が強いので第一ステップで
記念撮影 来年は頭に登る？